

外へくり出そ新緑の頃



今年は花見が出来た!

4月3日(月)朝の気温=6℃強、寒く手が冷たい。今年3月下旬の気温の寒暖差が大きく、桜も咲きかたまりか、迷っている様子。去年は雨で室内での花見に成ったとのことで。ひと花の花見は毎年4月上旬の第一日曜日、ひと花カフェ、料理作り、場内を移し、食する所は、柳の下で花見ということ。10時から料理作りと料理開始...。11時過ぎには、美味い料理も完成。チキン、ハンバーグ、サラダ、玉子焼き、野菜の煮物等々、重箱に詰めて、徒歩で20分程の公園(昨年も行方)に着き、ブルーシートを敷き花見開始。気温も春らしく上がり始め、肩の汗が止まらなくなる程。勿論、ひと花の花見では酒は飲めないので、お茶の会も出さず楽しく談笑の中、7分咲きの桜を楽しみ、大満足の中、総勢10人程で無事帰途に。Suzuki記

桜も終わりに初夏の訪れを感じる季節になりました。ひと花センターでは心地よい青空の下での活動が増えてきました。園庭を使った健康づくり、まちの清掃、農作物の収穫とメンバーたちは元気よくからだを動かしています。

大豆の収穫の時期になりました!



散歩の会は満開の中、聖天さんお参り!



下板のこどもたちの安全も見守り隊「見守り隊」



花園公園の草刈と花植え、ランジーがまわって



日曜はラジオ体操! 習慣にお返した!



山王みどり公園の花だんもまわって



阪道木曜日は、今宮工務店周辺の清掃花にまつ



地域と協働 今宮クリーン作戦!



ひと花メンバー! 来れ! 農作業!



ちょっと一言いひすか!
私ひと花センターに参入して約二年半になりました。あの頃は、橋下市長の大阪府構想の真最中でした。その頃、西成区、区長に臣永区長が誕生しました。西成区単身高齢生活保護受給者の社会的なつながり事業として平成二十五年の七月(日)に出来たひと花センター、途中から参加しました。酒やヤマシに溺れる格、社会的に孤立した格、色々なプログラムがあり、その中に農作業が有りです。当初は人が多くて作業が大変でしたが、この頃は参加する人が少なくなりました。最初参加した時、思は皆一緒です。初心に戻って、都合の良い時に参加して下さる。収穫された野菜も食したり、近隣の子供施設へお裾分け出来れば、これも立派な社会貢献かなと思ひます。参加待ちです。 桐野

鯉のぼり 天へと誘え 病める身を(赤鬼) 八重桜 おくれて咲いて ごめんです(岳寿)

山越せば 屋根で昼寝の 鯉のぼり(トンボ) 母の日に 父の居場所が 狭くなり(貴和心)

やめなはれ お天道さん みてまっせ(ハルキ)

ひと花新聞

平成29年5月1日

発行：NPO法人釜ヶ崎支援機構

ひと花センター

〒557-0002

大阪市西成区太子

1-13-15

電話：06-6664-9789

第46号

